

3/10

とちあいか食味コンテストで最高金賞 くまかわいちご園表敬訪問



とちあいか食味コンテストで、くまかわいちご園が最高金賞を受賞され、代表の相馬 亮冨 さんが喜びを語りました。相馬さんは、令和4年3月に就農し、食味だけでなく見た目も良いいちごづくりを目指し、きめ細やかな温度管理で品質向上に取り組んでいます。JA 出荷のほか、県内の道の駅や実家の蔵をリノベーションした直売所にて販売しています。

また、令和6年度には、いちご王国アンバサダーを務めたほか、SNSを活用したいちごの魅力発信に取り組むなど意欲的に活動されています。

3/10

女性農業委員の挑戦が地域を変える 「チームあゆみ」農林水産大臣賞を受賞



女性農業委員で組織する「チームあゆみ」が、令和6年度農山漁村女性活躍表彰で最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

チームあゆみでは、初心者向けの農機具取り扱い講習会やSNSを活用した農業経営スキルアップ講座、農業女子との意見交換会などを企画しています。女性農業委員ならではの視点による活動が女性農業者の支援や性別を問わない多様な価値観を尊重する意識の醸成につながり、地域の活性化に寄与していると評価されました。今年は10月に大規模な講演会も開催予定とのことです。

3/12

食を通した健康づくり

大人の食育講座開催



令和6年度大田原市食生活改善推進員養成講座「大人の食育講座」を開催し、5回の講座の中で「食」を中心に健康づくりについて学びました。

講座では座学で本市の健康づくり施策や生活習慣病予防、調理の基礎知識、食環境、食品衛生などについて学び、実技で身体活動や調理実習などを行いました。受講生同士のグループワークも行いながら、楽しく学ぶことができました。

3/13

こどもたちの成長を願って

新入学児童へランチョンマット寄贈



JA グループ栃木から、市内の新入学児童に学校給食で使う「笑みちゃんランチョンマット」が寄贈されました。

このランチョンマットは、「みんなのよい食プロジェクト」の一環で、未来を担うこどもたちが県内の農畜産物をたくさん食べ健やかに成長することを願い作成されたものです。

寄贈されたランチョンマットは市内小学校の児童に配布し、給食で使用しています。

3/18

こどもたちの登下校の安全を願って 新入学児童ヘランドセルカバー寄贈



大田原ロータリークラブ、大田原中央ロータリークラブ、黒羽ロータリークラブの3団体から、市内の新入学児童の入学を祝し、ランドセルカバーが寄贈されました。

平成28年度から、市が推進している「ありがとう運動」にちなみ、「ありがとう」の文字が入っています。

新入学児童への交通安全の願いを込められたランドセルカバーは、市内17校の新入学児童に配られました。

3/19

大田原の地酒で乾杯！！

大田原市三つ蔵新酒発表会



水が豊かで農業が盛んな大田原では、その自然環境を活かした上質な地酒が作られています。2008年に「大田原市の地酒とまちおこし研究会」を立ち上げ、地域と地酒の魅力をPRすべくさまざまな活動をしてありますが、この度「大田原市三つ蔵新酒発表会」を那須野が原ハーモニーホールで開催しました。大田原市の三つ蔵(天鷹酒造、菊の里酒造、渡邊酒造)のほか、今回は平山酒造店(藤の盛)と小林醸造(池錦)がゲストとして参加し、会場は日本酒ファンで大いに盛り上がりしました。

3/21

2025シーズン開幕 ~Fight Together~ 栃木ゴールデンブレーブスが表敬訪問



栃木県全域をホームグラウンドとするプロ野球チーム「栃木ゴールデンブレーブス」を擁する「株式会社栃木県民球団」の敷下 和弘 球団代表と坂巻 博志 統括本部長が市長を表敬訪問し、2025年シーズン開幕の挨拶をされました。

6月8日には「石川スポーツグラウンドくろいそ野球場」にて、那須地区3市町の住民を対象とした市町民デーと冠するホームゲームが開催されます。球場に足を運んで、ゴールデンブレーブスを応援しましょう！

3/24

新たに8件を認定

大田原ブランド認定式



本市の自然豊かな環境のもとで作られた、特に優れた特産品を「大田原ブランド」として認定しています。

今回で7回目となった認定審査において、「旨辛ピーマン肉味噌」、「与一ねぎ」、「にんじんは、のみもの」、「黒羽藍染のコースターときんちゃく」、「大田原チーズステーションのナチュラルチーズ」、「大関組紐」、「プレミアムなめらかプリン」、「栃木三鷹春巻き」の8件が新たに大田原ブランドとして認定され、計35件になりました。

3/21

3/26

4/7

災害に備えた体制づくり

民間企業および団体との災害時における協力に関する協定締結

栃木県司法書士会



株式会社デベロップ



オープン前施設見学会の様子

エヅリンググループ



近年^{げきじんか}激甚化する災害の備えや平時における課題対策として、企業・団体などとの協力協定を新たに締結しました。

栃木県司法書士会とは、「災害時における被災者相談業務の実施に関する協定」および「空き家等対策の推進に関する協定」を結びました。

エヅリンググループとは、「災害時及び感染症まん延時における防疫活動に関する協定」を結びました。

株式会社デベロップとは、「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」を結びました。

3/28

3/29

小中学生との指導対局や笑いあふれるトークショーも

ALSOK 杯第 74 期王将戦祝勝会開催



3月28日に、ALSOK 杯第 74 期王将戦七番勝負において王将位を防衛した藤井 聡太 王将の祝勝会が那須野が原ハーモニーホールにて開催され、多くの将棋ファンが参加しました。

3月29日には、関連イベントとして、ホテル花月にて市内の小中学生 10 名を対象とした藤井 王将と真田 八段による指導対局が行われました。緊張感が漂う中、一手を真剣に考える姿が見られました。また、今期王将戦を振り返るトークイベントも開催され、多くの方に注目された永瀬 拓矢 九段との熱戦を振り返りました。



4/6

交通事故ゼロを目指して

春の交通安全県民総ぐるみ運動祈願祭



4月6日から15日までの10日間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されました。

初日4月6日に大田原交通安全協会親園支部主催の交通安全祈願祭が行われ、早朝から親園交差点において大田原市長、大田原警察署長、大田原交通安全協会会長および親園地区内各自治会長を始め関係機関の方々など大勢の方が出席し、交通安全祈願を行いました。

交通安全祈願が皆さまにも届きますよう、これからも安全運転をよろしくお願いします。

4/10

ありがとう きょうはなんかいいたかな

ありがとう鉛筆の贈呈



市が取り組んでいる「ありがとう運動」の一環として、市内全小学校の1年生を対象に入学記念の「ありがとう鉛筆」を贈りました。今年度は、市内代表として薄葉小学校において贈呈式が行われました。

相馬 市長から直接記念品を手渡された1年生は、笑顔で「ありがとうございます」とお礼を言いました。この運動が、お子さまを通して家庭や地域にまで広がり、多くの人に笑顔と幸せが広がることを願っています。

「明治のナイチンゲール」大関和をたどる

関黒羽芭蕉の館 TEL 0287-54-4151

第1回 大関和とは ー時代背景と人物紹介ー

本市出身の大関和をモチーフにしたNHK連続テレビ小説「風、薫る」が、令和8年(2026)春から放送予定となっています。それに先駆け本紙では、和の人物像や事績、ゆかりの地などを、隔月で全6回に分けて紹介していきます。

後にわが国看護界の先駆者となる大関和(1858-1932)は、安政5年(1858)4月11日、黒羽藩の重臣で石高200石の大関弾右衛門増虎・テツ夫妻の次女として、黒羽田町に生まれました。当時の黒羽藩では、文久元年(1861)に15代藩主に就任した大関増裕の指導により、軍制改革を中核とした藩政改革が推進されていました。そうした中で父増虎は、元治元年(1864)2月7日、家老に就任しています。増虎は、硫黄の採掘の陣頭指揮にあたるなど、鉱山業務を中心として活躍しましたが、慶応3年(1867)12月9日の増裕の急死後、同4年8月に辞職しました。それでも増虎は、明治2年(1869)3月の黒羽藩の藩制改革によって家知事となり、同3年7月には白川県大属に任命されて、当地の勸業に寄与するところとなりました。

明治9年5月27日、増虎は50歳で死去しますが、この年、和は渡辺豊綱(1838-1925)と結婚しています。渡辺家は石高200石の家柄で、豊綱は物頭・砲術教示方という役職にあり、後には陸軍少尉となっています。和は明治10年に長男六郎を、同13年に長女シンを産んでいますが、豊綱とは離婚となりました。

和は明治14年に上京、同20年1月、桜井女学校附属看護婦養成所に入学し、その第一期生の一人となりました。翌年10月に看護婦養成所を卒業した和は、帝国大学医科大学附属第一医院(現東京大学医学部附属病院)の外科の看病婦取締となったことを皮切りに、新潟県の高田女学校に舎監として赴任したり、東京看護婦会講習所講師となったりしています。その後も、自身の著書『派出看護婦心得』や『実地看護法』が刊行となり、明治34年には東京看護婦会会頭に就任しています。さらに、明治42年11月には大関看護婦会を設立し、大関看護婦講習所を開所して、後進の育成と派出業務を通じた実践活動に専念しており、同44年には大日本看護婦協会東京組合長に就任となり、現在では「明治のナイチンゲール」と呼ばれています。

